

## 香川大学全学共通科目で模擬選挙を実施します

香川大学では、平成29年度より全学共通科目（教養教育）において、主権者教育に主眼を置いた「私たち（主権者）と公共・代表」を開講しています。

授業の前半では、非正規雇用の問題と大学教育費負担の問題を取り上げ、これらの問題を解決するための政策をグループ・ワークを通じて立案しました（別紙資料参照）。後半は、昨年の参議院議員選挙を題材として、政党に対する投票を行う模擬選挙を実施します。

### 【模擬選挙の概要】

日時 5月30日（火）10:30~12:00

会場 教育学部 421 番教室

実施方法

- ・ 2016年参議院議員選挙を題材として、「比例代表区」で「政党」に投票する想定で実施します。受講者には事前に、全ての政党の代表的な政策領域における立場をまとめた資料を配布します。
- ・ 高松市選管事務局から選挙・投票に関する説明を受けた後、投票を行います。
- ・ 選挙管理、開票も受講者が担当します。

### 【「私たち（主権者）と公共・代表」の受講者について】

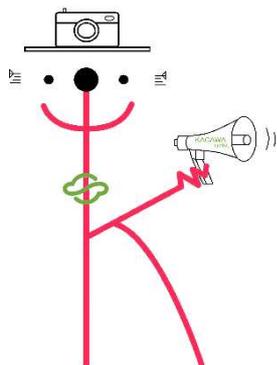
模擬選挙を実施する科目の受講者の構成は、以下の通りです。

受講者数 55名

学年 おもに1年次生

学部構成 法学部19名、工学部18名、医学部6名、農学部5名、経済学部4名、教育学部3名

男女比 男32名、女23名



### ➤ お問い合わせ先

香川大学 法学部 教授 堤 英敬

TEL : 087-832-1745

E-mail : tsutsumi@jl.kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合 香川大学 修学支援グループ 庵原

TEL : 087-832-1151

E-mail : sogaksen@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

[資料]

## 各グループの政策案と投票結果

「私たち（主権者）と公共・代表」の前半では、グループ・ワークを通じて、非正規雇用の問題と大学教育費負担の問題を解決するための政策立案に取り組みました。各グループが立案した政策の発表ならびにグループ間の討議の機会を設けた上で、最も優れた政策を選ぶ投票を行いました。各グループが提案した政策の概要と投票結果は、以下の通りです（投票総数 53 票）。

### [非正規雇用問題]

- ① A班 インターンシップの強化、キャリアアップ支援等（6 票）
- ② B班 非正規社員制度の見直し、家庭で仕事ができる仕組み（5 票）
- ③ C班 企業託児所の設置、男性の育休促進（22 票）
- ④ D班 中長期のインターンシップ、社内の労働環境改善等（5 票）
- ⑤ E班 職業学科の高校（大卒資格）の増加、待遇の改善等（5 票）
- ⑥ J班 国境税の導入、派遣会社の廃止（10 票）

### [大学教育費負担問題]

- ① F班 高等学校の義務教育化（高校の進路別化、学費の一部無償化、教育の充実）（5 票）
- ② G班 所得連動返還型奨学金、給付型奨学金、授業料免除（11 票）
- ③ H班 奨学金制度の増加、大学進学の意味の教育（27 票）
- ④ I班 交付金支給大学の重点化、全国共通ネット講義体制、理系の研究拠点（9 票）

### 【参考：「私たち（主権者）と公共・代表」授業スケジュール】

- 4/11 ガイダンス：授業の進め方、代表制民主主義の基本的なしくみ
- 4/18 現代の公共的課題：教育費負担問題／雇用問題の学習
- 4/25 グループ討議：問題の論点整理
- 5/9 グループ討議：問題の現状把握
- 5/16 グループ討議：課題に対する政策立案
- 5/23 政策発表・グループ討論会
- 5/30 選挙に関する学習と模擬選挙
- 6/7 模擬選挙に関する意見交換